

ふくしの思いを“ぽん”と一押し!

ふくぽん



見つけた!
身近なふくし
わたしのふくし

このパンフレットは、あなたの身近な福祉をわかりやすく
紹介し、あなたの福祉の思いを“ぽん”と一押しします!
福祉教育の教材としても、ぜひ、ご活用ください。



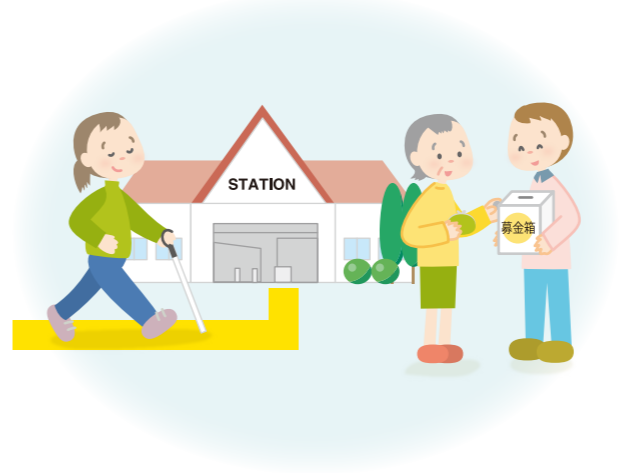
埼玉県社協マスコット
「シャキたまくん」



社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会

1 あなたの地域の こんな場面

*あなたは、こんな場面を見たこと、経験したことはありますか？



2 あなたの身近にある いろいろな活動

*いろいろな人、いろいろな活動、知っていますか？



町内会活動

地域住民で組織された任意団体で、お祭り、運動会、清掃、防犯パトロール、などの活動をしています。



サロン活動

高齢者、障害者、子育て中のお母さんなどが集う交流の場です。



民生委員・児童委員

地域住民の暮らしに関する相談を受け、必要な援助を行うボランティアです。



企業の社会貢献活動

企業も社会の一員として、ボランティア活動、寄付などの形で、地域や社会に貢献しています。



生涯学習

子どもから大人まで、趣味やチャレンジしたいことへの学習を支えます。



社会福祉協議会

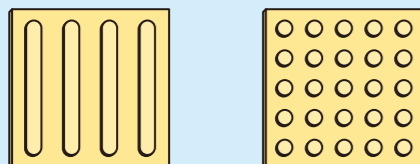
ボランティア活動や地域住民の福祉に関する相談に応じます。福祉活動の支援や、サービスを提供する民間団体で、各市町村にあります。

チェック!

☆道路や施設などにあるブロックやマーク・・・こんな意味があります。

点字ブロック

(視覚障害者誘導用ブロック)



視覚障害者の方が、より安全に歩行できるよう地面や床面に敷かれています。

左の線状ブロックは移動の方向を示します。

右の点状ブロックは注意すべき位置を示し、階段前、横断歩道前、障害物の前、点字ブロックの交差する分岐点などに設置されています。



障害者のための国際シンボルマーク

障害のある方が利用しやすい建築物、施設であることを示す世界共通のシンボルマークです。



盲人のための国際シンボルマーク

視覚障害者の安全やバリアフリーに配慮された建物、設備、機器などに付けられる世界共通のマークです。



身体障害者標識 (身体障害者マーク)

肢体不自由である方が運転する場合に車に表示するマークです。



マタニティマーク

妊娠中の方が公共交通機関等を利用する際に身につけることで、周囲の方が配慮しやすくするためのマークです。



聴覚障害者標識 (聴覚障害者マーク)

聴覚障害者が運転する場合に車に表示するマークです。



耳マーク

聞こえが不自由なことを表す、国内で使用されているマークです。



ほじょ犬マーク

身体障害者補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)同伴の啓発のためのマークです。



ハート・プラスマーク

外見からはわかりづらい身体内部(心臓、呼吸機能など)に障害がある方を表すマークです。

3 考えてみよう あなたの地域

*あなたは、この数字をどう思いますか？

(1) 埼玉県内を、地域(1つの中学校区内の場合)で見ると…

地域(1つの中学校区内の場合)の平均人口 **16,983人** (*)

年少人口
(0～14歳)
2,259人



生産年齢人口
(15～64歳)
11,253人



高齢者
(65歳以上)
3,471人



●地域には、いろいろな人が住んでいます。

障害のある方
(障害者手帳所持者)

知的障害者
87人

身体障害者
483人

精神障害者
69人



不登校児
(小中学生)
15人



外国人登録者
291人



要介護認定者
379人



被保護世帯
110世帯
(157人)



単身高齢者世帯
341世帯



高齢夫婦世帯
495世帯



*上記の数値は、埼玉県の各種データより、県内の公立中学校数で割り戻した人口と世帯数です。

(2) 埼玉県内の、ある市町村の人口を100人にした場合…

A市の場合

2010年

65歳以上
19人



15～64歳
67人



0～14歳
14人



【高齢化率】19%
5人に1人が高齢者



2030年

65歳以上
29人



15～64歳
61人



0～14歳
10人



【高齢化率】29%
3.4人に1人が高齢者



2030年のA市と
2010年のB町が
同じ割合!!

B町の場合

2010年

65歳以上
29人



15～64歳
60人



0～14歳
11人



【高齢化率】29%
3.4人に1人が高齢者



2030年

65歳以上
40人



15～64歳
52人



0～14歳
8人



【高齢化率】40%
2.5人に1人が高齢者



4 あなたの生活 これまでと これから

*あなたは今、どの時点(ステージ)にいますか?

*家庭、学校、地域、職場…。これまで、どんな場面で、どんな人とかかわってきましたか?



両親、兄弟姉妹、祖父母



夫・妻・子ども



近所の人・民生委員



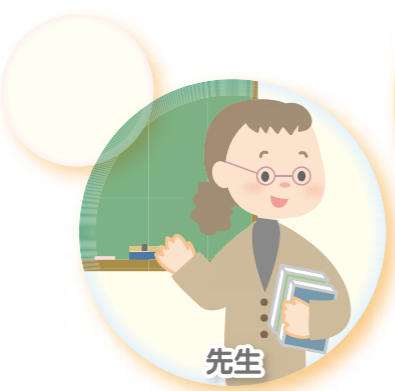
ヘルパー



医師・看護師



近所の人



先生



友達



仕事の仲間



趣味・サークル仲間

◎あなた自身やあなたの大切な人、そしてあなたの住む地域のこれらについて考えてみましょう。

5 わたしたちにできること 身近なところから

*あなたの思いやできることが、これからのあなた自身や、あなたが大切にしたい人、地域の人々の生活を、きっと豊かにするはずです。

あなたの“好き”や“得意”を活かして!



もっと、地域や社会のために!



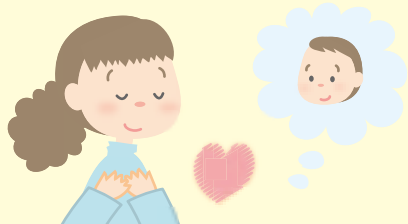
もっと専門的にやりたい人、学びたい人はこちら!



などなど

福祉は特別な人の、特別なものではなく、あなたの暮らしの中にあります。
あなたの思いや行動が、人を支え、住みよいまちをつくります。
だからこそ、こんなことも大切です。

相手を思う



マザー・テレサは「愛の反対は、憎しみで
はなく無関心であること」と言いました。

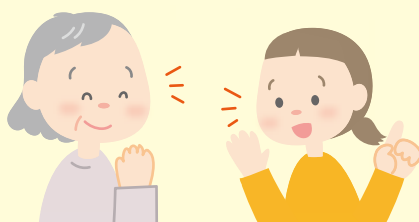
相手を思うこと、そして、思われるこ
とが、心の支えになります。

言葉を交わす



「おはよう」「おかえりなさい」「ありがとう」
「元気ですか?」「大丈夫だよ」言葉はあな
たと相手をつなぐ架け橋です。

知る・伝える



自分を伝え、相手を知ること。日常や社会
の出来事を伝え、知ること。それは、あな
たの世界を広げる最初の一步です。

「ふくぽん」

〒330-8529

埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷 4-2-65 彩の国すこやかプラザ

社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会 地域福祉部地域連携課

電話：048-822-1192

FAX：048-822-1449

